

事業番号	11 01 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室		
		実施期間	S24 ～	E-mail	kensetsu@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	⑥就業率		①労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		2-5 地域に根差した産業の振興				

1 現状と課題

建設業は、人の生活の当たり前を支えている産業であるとともに、災害時にはいち早く現場に駆け付ける地域の守り手として、重要な役割を担っており、安全・安心な県であり続けるためには、建設業が持続的に活躍できることが重要。
 建設業就業者は55歳以上が約34%である一方で、29歳以下は約11%と高齢化が進行し、次世代への技術承継が大きな課題となっている。将来にわたって持続的に発展し、魅力ある産業となるよう取り組むことが求められている。

2 事業目的

建設業を営む者の資質の向上、技術者の技術力向上及び建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、建設業の健全な発展を促進する。
 産学官が連携して建設業の次世代を担う人材の確保・育成を推進し、持続可能な建設業の基盤を整備する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①優良技術者表彰
 ・県の発注した建設工事及び建設工事にかかる委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰。
- ②建設業の次世代を担う人づくり推進
 ・建設系学科高校生を対象に、産・学・官の連携による「建設技術実践プロジェクト事業」及び「建設関係資格取得支援事業」を実施し、キャリア教育に必要な専門性を補完するとともに、建設業への理解を深め、就業意欲の向上を図る。
- 建設業の魅力を感じ
 一線で活躍する技術者の指導のもと実際の建設現場で測量・設計・工事等のプロセスを自ら実践し、体験する機会を設ける。
 （建設技術実践プロジェクト事業）
 - 即戦力となる担い手の育成
 入職後に必要な「2級土木・建築施工管理技士」及び「測量士補」の資格取得を支援する試験準備講座を開催。
 （建設関係資格取得支援事業）

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	優良技術者表彰申請者数（委託業務）	件	189	193	↗	198	↗	200	未達成	技術者の資質の向上と委託業務の品質の向上を目指すため、技術者の意欲につながる表彰制度の申請者数を指標として設定	
②	高校生の資格取得試験合格率	%	—	58.5	—	39.2	↘	70	未達成	就業意欲の向上のためには専門技術の習得が有効であるため、専門資格取得に係る支援の成果として、2級土木施工管理技術検定の合格率を指標として設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	40,316	0	40,316	3,501	36,709	33.5
R3年度	0	28,775	0	28,775	3,501	25,283	33.5
R2年度	0	26,902	0	26,902	3,288	21,240	33.5

事業番号	11 01 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	建設業振興費		部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室

6 主な取組実績と成果

① 優良技術者表彰

- ・県の発注した建設工事及び建設工事に係る委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰した。（委託業務：申請者198名、受賞者23名）
- ・表彰式は工事部門も含め92名が出席し、欠席者に対してwebで同時配信を行い、60名が視聴するなど、建設事業に携わる多くの技術者に意欲を持っていただくことができた。



優良技術者表彰 表彰式

② 建設産業の次世代を担う人づくり推進

- ・「建設技術実践プロジェクト事業」は4校で51名が参加して実施した。
- ・「建設関係資格取得支援事業」は6会場で86名が参加して実施した。このうち、51名が2級土木施工管理技士資格試験を受験し、20名の合格者が出るなど、建設産業が求める技術力を持った将来の担い手が育成された。



建設技術実践プロジェクト事業

建設関係資格取得支援事業

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	優良技術者表彰申請者数（委託業務）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
表彰制度の浸透により、前年度より申請者は増加したが、比較的規模の大きな業務に偏り、規模の小さな業務への申請が少なく、目標には届かなかった。							
指標②	高校生の資格取得試験合格率	R3年度推移	—	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
資格取得試験の合格率70%を目指して、各建設系学科高校で準備講座を開催する予定だったが、コロナ禍の影響から講座の中止やリモートによる講座としたため、十分な理解を深めることができず、合格率は目標値を下回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・優良技術者表彰については、比較的小規模で申請が少ない工種・分野などにおいても、品質の向上や技術力の向上を図るため、幅広い工種や工事分野を対象とした部門の新設など、制度改善に向けた検討が必要である。
- ・コロナ禍により職場体験・現場見学の機会が減り、就業及び資格取得の意欲が十分には高まらなかった。
- ・学校への聞き取りによると、建設系学科高校から建設産業への就職率は74.6%と高い状況にある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・優良技術者表彰については、申請が少ない工種・分野について、その要因の分析のほか、制度改善に向けた建設関係団体との意見交換を進める。
- ・多くの学生の就業意欲向上のため、職場体験や現場見学会の機会を増やす、また就業に役立つ資格取得に積極的に取り組むよう支援していく。
- ・職場体験学習等により中学生に建設産業への興味を深め、建設系学科高校への進学者数を増やしていく。

事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室
-----	---------------	----	-----	-----	-------------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	建設業振興費		21,240 千円	25,283 千円	36,709 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	建設業情報管理電算処理業務	委託	建設業許可及び経営事項審査に関するデータの管理等の電算処理業務を（一財）建設業情報管理センターに委託し、建設業許可及び経営事項審査の申請等の際に、センターが運営する「建設業情報管理システム」を利用し、審査等の業務を実施 建設業許可申請数 2,046者 経営事項審査申請数 2,694者		
2	優良技術者表彰制度事業	直接	県の発注した建設工事及び建設工事にかかる委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰。 優良技術者表彰 1回（委託業務：申請者198名、受賞者23名）		
3	建設産業の次世代を担う人づくり推進事業	直接	産・学・官の連携による「建設技術実践プロジェクト事業」及び「建設関係資格取得支援事業」を実施し、キャリア教育に必要な専門性を補完するとともに、建設産業への理解を深め、就業意欲の向上を図る。 実践プロジェクト 4校 資格取得支援事業 6会場		